

# 2004年度 建築計画委員会の活動

委員長 服部岑生

# 委員会の目的と構成

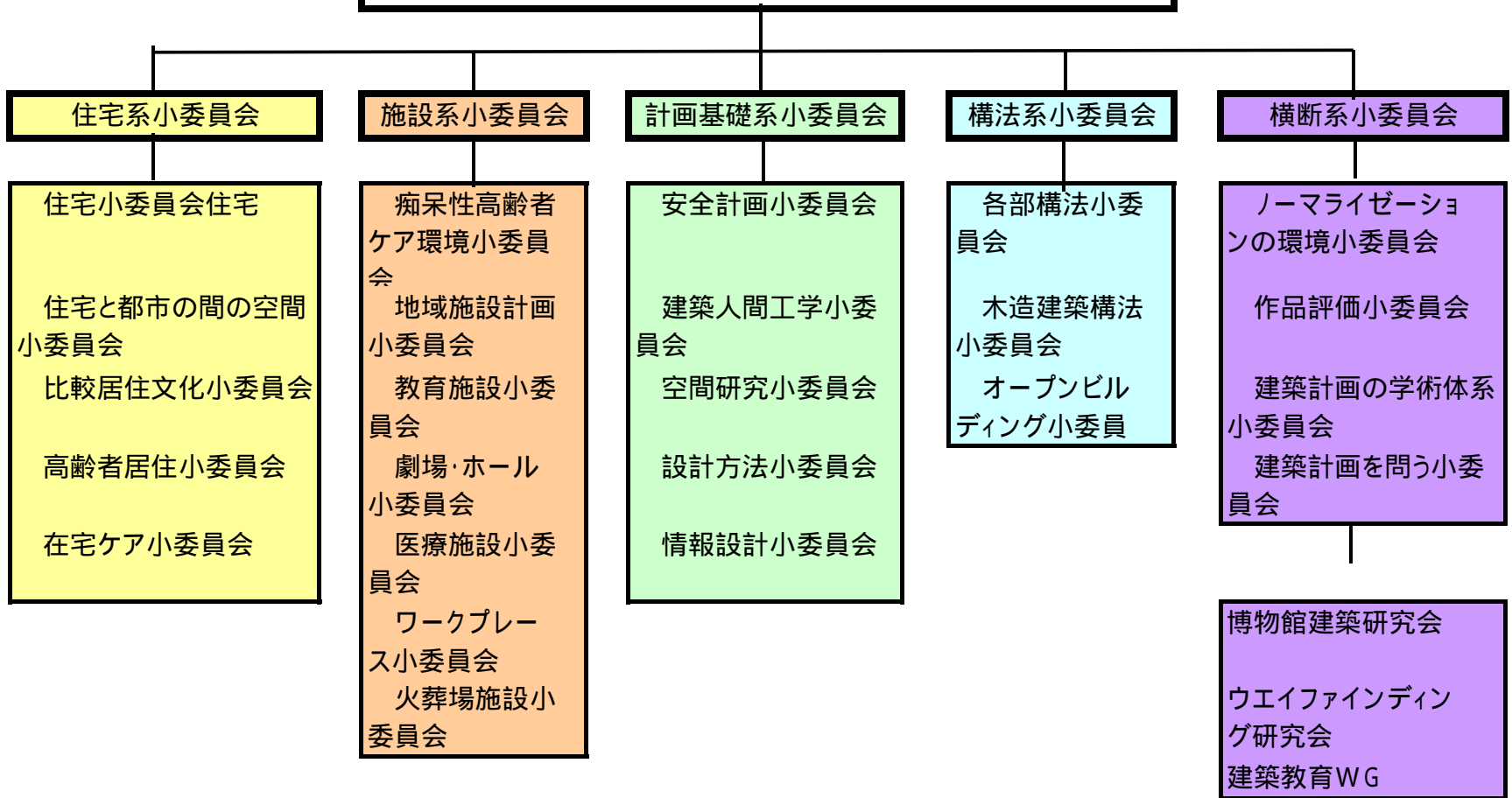
## • 目的

- (1) 建築計画に関する調査研究
- (2) 学術研究会・研究協議会・講習会の実施
- (3) 建築計画関係者の交流および情報交換
- (4) 学術等の資料作成
- (5) 委託研究の実施
- (6) その他

## • 構成

- (1) 基本14小委員会・11WG・1研究会、研究7小委員会・6WG
- (2) 基本・委員340名・151回会合、研究・委員166名・67回会合

# 2004年度建築計画委員会



# 住宅系小委員会

## ・ 催し物・研究集会、講習会等

- (1) 建築学会大会 PD「住まい手参加型の期待と現実」(住宅小委員会)
- (2) 公開研究会「阪神大震災復興地区の見学会」(住宅と都市の間の空間デザイン小委員会)  
フォーラム「日本と海外の居住文化比較とフィールドワークの手法」(比較居住文化小委員会)
- (3) 「住宅と住宅群のデザイン研究集会」(住宅小委員会集合住宅フォーラムWG + 都市住宅学会共催)

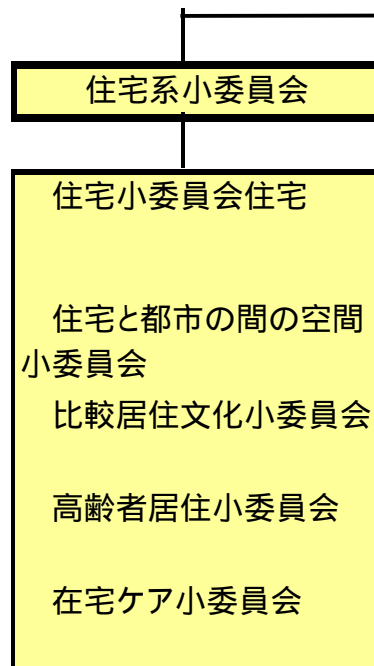
## ・ 出版等

- (1) 「事例で読む現代集合住宅のデザイン(彰国社)」(住宅小委員会)
- (2) 「ケアマネージャー向けの住宅改修用ビデオの製作」(在宅ケア小委員会)、ビデオを使った研修受講者に対してアンケート調査を行い、研修内容の評価および研修のあり方に関する継続的な研究

# 住宅系小委員会(2005)

- ・ 住宅系の計画研究活動を統合した形での学術研究報告会（シンポジウム）を開催（住宅小委員会）
- ・ 環境空間の優れた事例の見学会および公開講演会を開催（住宅と都市の間の空間デザイン小委員会）
- ・ 住まいにおける祭祀空間と世代交替の技術と住まいに関する公開フォーラムを開催（比較居住文化小委員会）
- ・ 高齢者居住の新しいビジョンづくりを目指し、これまでの研究成果と最新の研究課題に関する論文集を作成（高齢者居住小委員会）
- ・ 高齢者だけでなく、障害者の在宅環境にも目を向け、住宅改修や支援制度に関する研究に新たに着手（在宅ケア小委員会）

# 住宅系小委員会



**活動 住宅系社会課題への取り組み**

**課題 住まい手参加、高齢者居住、超高層住宅、地震対応**

**発信 最新集合住宅事例の出版**

# 施設系小委員会

- ・ 催し物・研究集会、講習会等
- (1) 障害をもつ学生等に対する教育支援制度、施設環境に関する研究事業(ノーマライゼーション小委員会)
- (2) スウェーデンではどのように痴呆ケアに環境を生かしているかインゲ女史による公開研究会(痴呆性高齢者ケア小委員会)
- (3) 痴呆性高齢者への施設環境づくりセミナー日本痴呆ケア学会と連携(痴呆性高齢者ケア小委員会)
- (4) 地域施設計画シンポジウムは2004年度で22回を数え、毎回50編を超える論文の発表と350頁を超える研究の発表誌を発行(地域施設計画小委員会)
- (5) 一般公開シンポジウム「これからの劇場のめざすもの」開催 於：長野県松本市まつもと市民芸術館, 劇場ホール小委員会)
- (6) 一般公開シンポジウム「公共文化施設のあるべき姿を探る」(美術館と劇場・ホールの場合)(劇場ホール小委員会)
- (7) 「健康と地域づくりを担う医療施設のデザイン」をテーマに新しい視点での今後の施設デザインを検討(医療施設小委員会)
- (8) 学校研究会多数(教育施設小委員会)
- (9) ワークスペース見学会、研究会の開始(ワークスペース小委員会)

# 施設系小委員会(2005)

## ・ 2005 年度計画

- (1) 痴呆性高齢者への施設環境づくりに関する研修会等の開催
- (2) 第23回地域施設計画シンポジウムの開催、論文査読、研究誌発行
- (3) 「劇場・ホールの音響空間デザインの可能性」をテーマにして一般公開シンポジウムを開催する。(2005年4月ミュージア川崎シンフォニーホール)
- (4) 「教育資源としての劇場・ホールの見直し」教育施設系の研究グループと横断的な研究集会を行う。
- (5) 医療施設の地域化、プライマリー医療の提供の新しいあり方の検討。外来診療の分離化、デイサージャリーの普及などの事例についての視察とオピニオンリーダー(広く保健行政や実務家を対象とする)による講演の開催。事例の視察とヒアリングの企画。
- (6) 都心部における中小規模オフィスの転用可能性、先端オフィスと業種形態、社会システムの変革とワークプレイスの変容、島型対向式レイアウトに関する考察、環境共生・人にやさしいオフィス。



# 施設系小委員会

## 施設系小委員会

痴呆性高齢者  
ケア環境小委員  
会  
地域施設計画  
小委員会  
教育施設小委  
員会  
劇場・ホール  
小委員会  
医療施設小委  
員会  
ワークプレー  
ス小委員会  
火葬場施設小  
委員会

**活動 施設の地域課題への取り組み**

**課題 高齢者ケアハウス、教育施設、  
地域劇場、地域美術館、事務所**

**発信・今後 多数のシンポジウム開催  
(地域施設の将来、用途コンバージョン、教  
育資源、地域共同運営、地域施設研究会  
の発展)**

# 計画基礎系小委員会

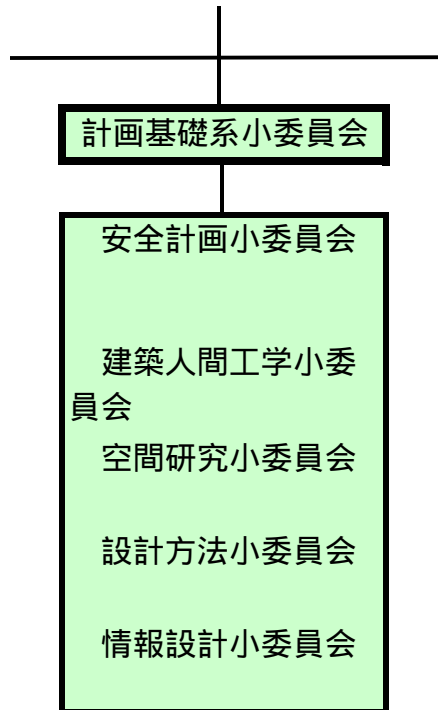
- ・ 催し物・ 研究集会、講習会等
- ( 1 ) 「避難安全のバリアフリー計画」の要件・ 推奨計画手法・ 参考資料をHP上に公開( 安全計画小委員会)
- ( 2 ) 第42回研究会「高齢者の日常生活事故を科学する」、第43回研究会「日常生活事故を科学する 子どもの遊びと安全」( 建築人間工学小委員会)
- ( 3 ) 第55回研究会「個性を持った人間のふるまいをビジュアルにとらえる」、第56回研究会「生徒・ 児童の視点から学校教室空間を再考する」( 空間研究小委員会)
- ( 4 ) ラウンドテーブル形式の半公開研究会「情報収集から発信までの情報設計教育( 3大学) の試み」、「吊り免震構造を用いた新しい建築種別設計への試み」、「年次研究会の企画に関する議論 / 環境情報教育」、「芸術工科大学の設計教育」( 情報設計小委員会)

# 計画基礎系小委員会(2005)

- 2005 年度計画

- ( 1 ) 「避難安全のバリアフリー計画」の安全計画シンポジウム「大規模想定外災害」のリスト化・各種要因と設計方法関連図の作成(安全計画小委員会)
- ( 2 ) 第44回・第45回での日常安全シリーズの研究会(建築人間工学小委員会)
- ( 3 ) 単行本「体験される場所の質とデザイン」出版計画(環境行動研究小委員会)
- ( 4 ) 「空間と情報の設計」第1回シンポジウム(3月)「空間と情報の設計」第2回シンポジウム(12月)(情報設計小委員会)

# 計画基礎系小委員会



**活動** 計画の基礎となる設計方法、安全性、人間工学の研究と発信

**課題** 安全計画、人間工学、環境計画、情報設計

**発信** 伝統ある研究会の開催と成果の出版

# 構法系小委員会

・催し物・研究集会、講習会等

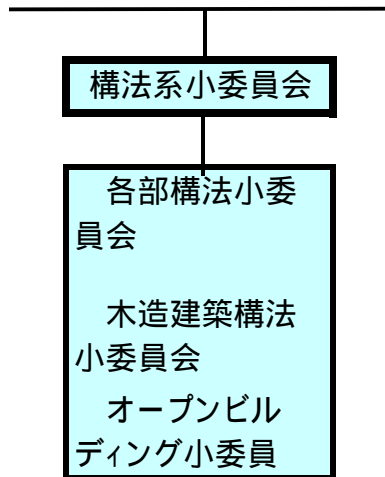
- (1) コンバージョンに関する研究成果の報告会、オープンビルディング小委員会 会第  
10回CIB-W104年次会議への参加(オープンビルディング小委員会)
- (2) 新たなディテール設計及び開発に関する講演会(各部構法計画小委員会)
- (3) 「はねだし造り」民家、ベトナム伝統的民家の架構実験、山形県における雪 囲い  
、民家の和様・大仏様・禅宗様等、伝統木造構法に関する研究会(木 造建築構法  
小委員会)
- (4) PD研究会「伝統構法の再考 - 指付技法と指物 - 」(木造建築構法小委 員会)

# 構法系小委員会(2005)

## ・2005年度計画

- (1) 建築計画における「用途」の概念に関する調査・研究、インフィルシステムの共同開発、関連する国際会議の開催、海外の研究者との情報交換(オープンビルディング小委員会)
- (2) 新たなディテール設計及び開発に関する講演会(各部構法計画小委員会)
- (3) 木造建築における新しい技術や構法開発の動向の整理、日本の木造軸組建築の構法史に関する研究、在来および伝統木造構法の性能の再評価と性能向上のための技術に関する研究、アジア各地の木造建築構法に関する体系的な情報収集(木造建築構法小委員会)

# 構法系小委員会



**活動 構造・構法の計画  
系課題への取り組み**

**課題 新構法の研究、伝  
統構法の発展継承、コンバー  
ジョン**

**発信 PD開催等**

# 横断系小委員会

2004 年度

- (1) 研究協議会「建築計画の学術体系のあり方を問う フレームワークの再編に向けて」の開催、 建築計画のシラバスの収集・分析、 計画研究・計画事例のレビュー、 建築計画のフィールドの再編、 新しい学問領域・ビジョンの提案、 建築教育・職能・社会的状況との関連等の内容をまとめた資料集を刊行(建築計画の学術体系小委員会)
- (2) シンポ「建築の現代的クライテリアについて」、「現代都市と建築作品のテンションー原廣司の建築作品を巡って」の開催(作品評価小委員会)



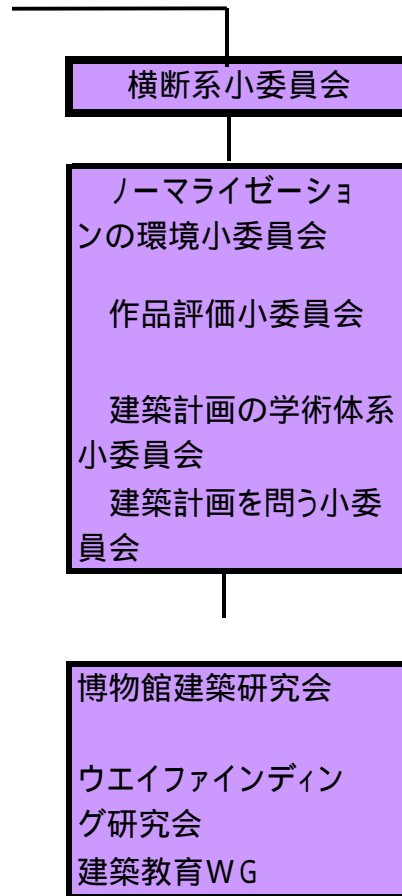
# 横断系小委員会(2005)

2005 年度

(1) 質の高い建築を誘導する建築計画の学術体系の構築、研究と実践をリンクする新しいメディアの構想、建築計画のメディアをめぐるシンポジウムの開催(建築計画の学術体系小委員会)

(2) 作品選奨の評価分析、「(続)建築の現代的クライテリアについて」の開催(作品評価小委員会)

# 横断系小委員会



**活動** 計画系に関する学術課題、テンポラリーな個別課題等への取り組み

**課題** 緊急課題、建築計画の将来像、建築設計との関わり、建築教育の方向

**発信** 検討成果の協議会等での発表、教育課題に対する内外での提言と発言

# 建築計画委員会の課題 (2003年度)

- 領域の拡大ーサステナビリティ、高齢化対応、利用者参加、新タイプ施設
- 既存領域の深化ー人間科学、マネジメント
- 領域を越える横断化ーデザイン、持続性
- 社会と事業者ー地域・環境貢献と経営
- 行政方針ー都市政策、住宅政策等
- 教育体系・学会の既成条件の調整

# 今後の課題と活動準備(2003年度)

- **建築計画領域の拡大についての対応**
  - 下部小委員会から話題提供(公開)と啓蒙
  - **建築計画の体系**の整理の検討(小委員会設置)
- **建築設計への実質的な関連づくり**
  - 作品評価小委員会の再編成と公開研究会開催
- **建築教育(計画系)のあり方の研究**
  - 教育WGおよび**21世紀計画系教育特別研究委員会**への参加
- **その他の課題**— **緊急課題へ対応**、男女共同参画

# 多発する建築事故と災害から

## 計画と設計に何ができるかを問う

日時: 2005年1月26日(水) 13:30 - 17:00

会場: 建築会館ホール(東京港区芝5-26-20)

日本建築学会建築計画を問う委員会主催 緊急研究討論会

# 大規模集客施設の 安全と建築計画

> 春季学術研究集会主催：建築計画委員会

>

## > CODAN東雲は、集合住宅を変えるか

>

> 公団の技術力と建築家のコラボレーションが、超高密条件の中で、過去にない都市集合  
> の形を生み出しました。都市との関係、住棟と住戸の関係、住戸計画にいたるまで、あ  
> らゆる要素に工夫があふれています。CODAN東雲を通して都市集合居住のあり方を議論  
> します。どうぞご参加ください。

>

> 日時：2004年6月26日(土) 13:00 ~ 17:30

> 会場：CODAN東雲ギャラリー(案内図は住宅小委員会HPをご覧ください)

> <http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s8/top.htm>

> <プログラム>

> 司 会：小林秀樹(千葉大学)

> 主旨説明：服部岑生(千葉大学)

> **パネリスト：山本理顕(山本理顕設計工場)**

> **隈研吾(隈研吾建築設計事務所)**

> **山田正司(山設計工房)**

> **井関和朗(都市基盤整備公団)**

# 特別活動(2004年度)

(1) 緊急特別研究会第一回「大規模集客施設の建築計画と建築計画」

1月26日 講師 直井英雄、隈研吾、中分 毅、斉藤公男

以降の企画: 超高層住宅の課題と建築計画(6月)、建築景観の責任(11月)  
等

(2) 春期学術研究会「CODAN 東雲は、集合住宅を変えるか」

6月26日 講師 山本理顕、隈研吾、山田正司、井関和郎

以降の企画: 「京町屋と大阪町屋」 - 再生からみた都市居住のあり方(6月)

(3) 教育WG

JABEE、UIA などの計画系教育の当面課題の学習と対応のトーンあわせ

21世紀計画系教育特別研究委員会の成果の検討

(4) 本委員会の活性化ミニシンポ

委員会終了後の研究論の交流

「地域施設研究」(渡邊昭彦)、「住宅研究」(小林秀樹)「船越徹の研究史」他  
来年度、出版予定

# 2004・2005年度建築学会大会

- 2004年度研究協議会「**建築計画の学術体系のあり方を問う**」  
「住まい手参加型の夢と現実」「社会資産としての住居の構成」「伝統木造構法の再考—指付技法と指物」
- 2005年度研究協議会「**建築計画の知見と手法と蓄積は21世紀の都市・地域再生にどのような提言が可能か**」  
「研究COE・教育COEにむる建築計画の展開」  
「住居と施設の再編成—新たな場の運営者を迎えて」



# 終

幹事－松村秀一(東大)、西村伸也(新潟大)、園田真理子(明治大)、清水裕之(名古屋大)